

## データサイエンスコンペティショングローバルPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年09月04日 ～2025年09月13日	日本	スラバヤ工科大学 スラナリー工科大学 タシュケント情報技術大学 マレーシア・クランタン大学	・情報工学科、情報工学コース、情報通信工学科、情報通信コース ・学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生17名、学生バイト5名、教員2名 (スラバヤ工科大学) 学生15名、教員1名 (スラナリー工科大学) 学生5名 (タシュケント情報技術大学) 学生7名 (マレーシア・クランタン大学) 学生5名、教員2名	木村 昌臣(情報・通信工学課程情報工学コース)、金尾 太郎(情報・通信工学課程情報工学コース)



図1 参加者集合写真

9月始めの2週の期間(プログラムは8日間)にて機械加工のデータについての分析を行うPBLを実施した。参加者は本学約20名、協定校4校約30名であった。データは機械工学課程の澤先生ご提供のデータであり、金属を切削する際の工具のびびり振動についてのものであった。このデータからびびり振動の発生の有無の予測や発生メカニズムについての知見を得るためのモデルの構築・評価を行うというテーマでPBLを実施した。参加者はすべて情報工学分野の学生であるため、機械加工やびびり振動のあらましやデータセットの説明を行ったうえで、5人1チームとして解析を試みた。短期間ではあったが、様々な観点での解析があり興味深かったとともに、参加学生からも好評であった。



図2 ディスカッションの様子1

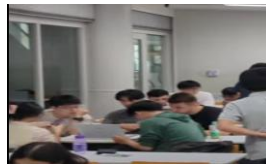


図3 ディスカッションの様子2



図4 ディスカッションの様子3